

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	横浜理容美容専門学校
設置者名	学校法人 神奈川理容美容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門	美容	夜・通信	1482 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務所に備え付けて閲覧

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	横浜理容美容専門学校
設置者名	学校法人 神奈川理容美容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務所に備え付けて閲覧

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
(備考) 2020年4月1日までに複数の学外者である理事の選任を確実に実施する。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	横浜理容美容専門学校
設置者名	学校法人 神奈川理容美容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 前年度の反省等をふまえ、在校生や卒業生の意見を取り入れて全教員で話し合いを重ねて授業計画を作成していく。 作成時期は基本1月頃とし、公表時期は4月とする。	
授業計画書の公表方法	事務所備え付け
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 定期試験や日誌につけた授業結果や態度、出席率などを参考にして成績をつける。	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各試験の平均点を割り出し順位を公表。 学科試験では成績の分布ごとに人数を出し、どの位置に何人いるのかがわかるようにする。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>事務所備え付け</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の教育課程修了者・科目の修了試験により認定された者 ・ 納付金の完納者 ・ 2年間の授業時間 2010 時間以上を受講した者 <p>教職員で卒業に係る会議を開き卒業認定者を決めていく。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>事務所備え付け</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	横浜理容美容専門学校
設置者名	学校法人 神奈川理容美容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	情報公開の請求があった場合は学校にて閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	情報公開の請求があった場合は学校にて閲覧可能
財産目録	情報公開の請求があった場合は学校にて閲覧可能
事業報告書	情報公開の請求があった場合は学校にて閲覧可能
監事による監査報告（書）	情報公開の請求があった場合は学校にて閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門	美容				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間/単位	1110 単位 時間/単位	単位時間 /単位	900 単位 時間/単位	単位時間 /単位	
			2010 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
220人		181人	0人	10人	12人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）前年度の反省等もふまえ、在校生や卒業生の意見を取り入れて全教員で話し合いを重ねて授業計画を作成していく。作成時期は基本1月頃とし、公表時期は4月とする
成績評価の基準・方法
（概要）各試験の平均点を割り出し順位を公表。 学科試験では成績の分布ごとに人数を出し、どの位置に何人いるのかわかるようにする。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・2年間で2010時間以上受講した者。 ・納付金の完納者。 ・科目の修了試験により認定された者。
学修支援等
（概要） 就職活動の支援。 放課後の部活（メイク、ネイル）への参加。技術不足者への追加授業。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
68人 (100%)	0人 (0 %)	58人 (85.3%)	10人 (14.7%)
(主な就職、業界等) 美容室、ネイルサロン、エステサロン、アイラッシュサロン			
(就職指導内容) 学校内にて就職ガイダンスを開催。放課後に個別で就職指導を行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 美容師国家資格、ネイル検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
159 人	9 人	5.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日頃の授業態度等に目を配り、気づいた所があれば個別面談をおこなう。必要であれば三者面談もおこなう。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容	120,000 円	792,000 円	287,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務所に備え付けて閲覧		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 外部アンケート等を用いて卒業生を中心とした委員会が自己評価の結果について評価する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価を確実に実施し 2020 年からその結果を公表するた めに委員の選任を行う。		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020 年度から評価を確実に公表する		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.yokohama-riyobiyo.ac.jp
--